

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

= 12月の行事計画 =

2日（木）誕生会
10日（金）選択食
14日（火）Xmasマーケット
15日（水）Xmasマーケット



17日（金）寿司の日
22日（水）選択食
22～24日 ゆず湯
24日（金）クリスマス会

= 1月の行事計画 =

1日（土）元旦 おせち料理
6日（木）誕生会
14日（金）選択食
21日（金）寿司の日

28日（金）選択食
※日付未定 餅つき大会



=職員介護に対する心構えと責任について=

利用者様一人ひとりの皆様が日常生活においてお変わりがないか、行動の面で危険性がないかを素早く察知していくことが、介護・看護の専門職としての質と評価され、職員の勤務能力の判定基準のひとつとされています。

介護老人福祉施設は入所されている皆様の「生活の場」と定義づけられていますが、ほとんどの方が認知症や身体障害を抱えられた高齢者であるために、生活行動において絶対の安全はなく、むしろ安心は禁物と言われていることから、絶えずリスクを感じながら一人ひとりの生活の安全を守ることが職員に課せられた責務であると自覚して行動しております。

そのためには利用者様一人ひとりに対する日常生活の観察力と注意力が大切であり、常に事故発生を未然に防ぐための対応と能力が身につくよう研修を重ねております。

=急変時の対応と事前の安全対策について=

高齢者の体調は突然変化することが多く見られます。例えば少し前までは元気で食事を摂られていても、数分後に嘔吐したり気分不快を訴えることもあります。その原因はよく分からなくても、体調に何らかの変化が起こったことは確かであり、普段あまり体調を崩さない方でも、思いがけない症状が突然に起こることもあります。

特に昨年から世界的に感染が広がった新型コロナウイルスに関しては、施設内でのクラスター感染に対して最大の注意と予防対策を徹底する必要が求められています。そのため暫くの間は直接のご面会などはご遠慮願ひ、感染防止には最善の対策を行っていくことに致します。

感染対策に対しては手洗い、環境の整備清掃が重要で、事前の防御対策が第一であり、外部からの訪問者にもご協力頂ひて、万全の感染防止対策を徹底していくよう配慮してまいります。

＝常に利用者様の声や表情に心を傾注して＝

利用者様の中には自分の要望を言葉に出そうとしても、はっきり言葉に出せない方や、意思伝達が困難な方もおられますので、何も言わないから何の要望もないのだろうと思ってしまうのは大きな間違いです。ご本人にとっては真剣に要求しようとしているかも知れないのに、職員の先入観だけで自己判断してしまうことは大きな過失を招くこととなります。

毎日の介護業務は限られた職員数で行わなければならない、満足を得られるようなサービスの徹底は充分ではないかと思いますが、利用者様が頼れるのは職員しかいないということを、職員自身がよく認識して、これからも少しでも満足して頂ける介護業務に徹していくよう心掛けてまいります。

紅葉を見に行ってきました！

飯能のこどもの森公園に紅葉を見に行きました。



出来たてホットケーキ

出来たてのあつあつホットケーキ（*’▽’）



文化祭を開催しました

11月3日文化祭を開催しました。

利用者さん、職員、ご近所の方々が作成した作品を展示させていただきました。また、1年間を振り返ったムービーを作成し利用者さんと鑑賞会を行いました。



昼食は青梅にちなんで、梅ご飯や東京×の生姜焼き弁当を頂きました。

文化祭では永年勤続者の授賞式も行いました。6名が受賞されました。

